

北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会

委員一覧（20名）

委員長	山谷 えり子（自民）	衛藤 晟一（自民）	高橋 光男（公明）
理事	清水 真人（自民）	北村 経夫（自民）	高木 かおり（維新）
理事	宮本 周司（自民）	島村 大（自民）	柳田 稔（民主）
理事	森 ゆうこ（立憲）	長峯 誠（自民）	武田 良介（共産）
理事	竹内 真二（公明）	丸川 珠代（自民）	船後 靖彦（れ新）
	赤池 誠章（自民）	有田 芳生（立憲）	ながえ 孝子（碧水）
	磯崎 仁彦（自民）	打越 さく良（立憲）	（会期終了日 現在）

（1）審議概観

第204回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査〕

菅内閣総理大臣は、第204回国会の施政方針演説において、政権の最重要課題である拉致問題については、菅総理自らが先頭に立ち、米国を含む関係国と緊密に連携しつつ、全力を尽くすとの決意を表明した。また、金正恩委員長と条件を付けずに直接向き合う決意に変わりはなく、日朝平壤宣言に基づき、拉致、核、ミサイルといった諸懸案を包括的に解決し、

不幸な過去を清算して、国交正常化を目指すとした。

4月28日、北朝鮮をめぐる最近の状況について茂木外務大臣から、拉致問題をめぐる現状について加藤国務大臣からそれぞれ説明を聞いた。

6月11日、北朝鮮に対する我が国の制裁措置、バイデン米政権の北朝鮮政策、拉致問題の啓発・広報、拉致問題解決に向けた国際的連携、拉致の可能性を排除できない事案への取組、拉致問題への取組等について質疑を行った。

（2）委員会経過

○令和3年1月18日（月）（第1回）

○特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○令和3年4月28日（水）（第2回）

○北朝鮮をめぐる最近の状況に関する件について茂木外務大臣から説明を聞き、拉致問題をめぐる現状に関する件について加藤国務大臣から説明を聞いた。

○令和3年6月11日（金）（第3回）

○理事の補欠選任を行った。

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○北朝鮮に対する我が国の制裁措置に関する

件、バイデン米政権の北朝鮮政策に関する件、拉致問題の啓発・広報に関する件、拉致問題解決に向けた国際的連携に関する件、拉致の可能性を排除できない事案への取組に関する件、拉致問題への取組に関する件等について加藤国務大臣、茂木外務大臣、三ッ林内閣府副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

森ゆうこ君（立憲）、高木かおり君（維新）、柳田稔君（民主）、武田良介君（共産）、船後靖彦君（れ新）、ながえ孝子君（碧水）、

竹内真二君（公明）、清水真人君（自民）

○令和3年6月16日（水）（第4回）

- 北朝鮮による拉致問題等に関しての対策樹立に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。